

### 5 「誇れる」福祉・医療で笑顔に



市内の登録医療機関で歯科健診を受ける妊婦

妊婦中の歯のケアは、むし菌・歯周病の予防や出産後の乳幼児へのむし菌感染予防につながります。さらに歯周病は早産や低体重児出産に関連するという報告もあることから、市内の登録医療機関で、歯科健診や保健指導を無料で受けることが出来る「個別妊婦歯科健康診査」を6月から開始しました。

#### 口腔ケアなど予防医療の充実

またワクチンによる予防が有効とされる「子宮頸がん」のほか、乳幼児が感染すると死亡や重度の後遺症が残る可能性の高い「ヒブ」「肺炎球菌」による感染症を予防するため、ワクチン接種費用の全額助成を、県内の市ではいち早く、2月15日から開始しました。

### 市政特集

# 笑顔あふれる松山へ

野志市長が「一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山」をキャッチフレーズに掲げ、市長に就任してから約9カ月がたちました。この間、愛する松山を笑顔あふれるまちにしようと、7つの公約を柱に、タウンミーティングの開催やトップセールスなど、実現可能なものから早期に着手し、平成23年度当初予算では、関連する事業も含めて、212の公約事業を計上。今回、主な公約事業の進捗よく状況をお知らせします。(8月16日現在)

## 着々と進むまちづくり

### トップセールスで全国発信



大田市場でまつやま農林水産物ブランドをPRする野志市長

市長が先頭に立って、紅まじりなカラマンタリンなどの「まつやま農林水産物ブランド」のトップセールスを、東京や札幌市、横須賀市で開催のイベントなどで行っています。

特に4月は、青果、花き部門において日本一の取扱規模を誇る東京の大田市場で、卸売業者ら流通関係者へのトップセールスを行うことで販路の拡大を図りました。

### 6 「誇れる」まちの長所を活かし笑顔に

「えひめ・まつやま産業まつり」10月開催予定

本市の農林水産物に加え、産業加工品など地域のさまざまな産品を市内外へPRするため、10月22日(土)23日(日)に「えひめ・まつやま産業まつり」を城山公園で開催します。情報発信と併

せ松山の産物を知ってもらい、人を招く「地産知招」をキーワードとして、来場者10万人を目標に、商業・工業・農林水産業の発展や消費の拡大につなげていきます。

### 1 「誇れる」行政サービスで笑顔に



正岡地区タウンミーティング

地域の皆さんと市長が直接対話する「タウンミーティング」は、1月の五明地区を皮切りに、これまで北条・中島・堀江・桑原・雄那・余土・正岡・石井の9地区で実施されています。タウンミーティングでは、住民から歴史や自然といった地域の魅力のほか、地域が抱えている具体的な課題などが生まれ、それぞれの地域に合った対応策などについて、一緒に考え話し合いながら進めています。当初は41地区を月1回のペースで4年間かけて回ることになっていましたが、住民の声を早期に施策に反映するため、前倒しして平成25年末までに開催することになりました。

また「まちづくり協議会」は、今年度新たに五明・石井・正岡の3地区で設立され、計10地区で住民主体のまちづくりが進められています。これらの事業を通じて、市民と行政が理解や連携を深めながら、住民の思い描くまちの実現を目指しています。

## 平成25年末までに 市内41地区でタウンミーティング

## 公約実現に向け

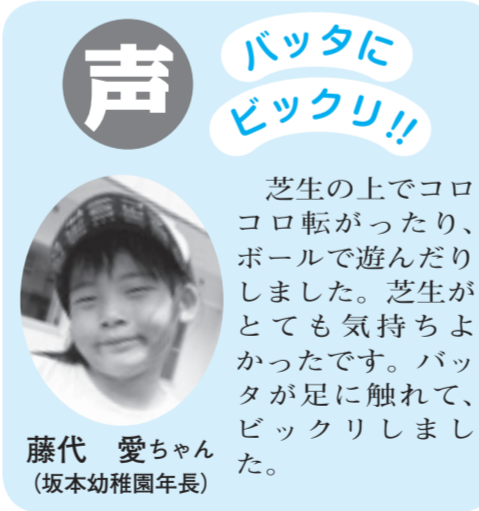
### スポーツ・文化枠の職員採用

芸術・学術やスポーツにおいて顕著な実績や成果を収めた人材に、専門的・技術的な知識・能力だけでなく挑戦する意欲や前向きな精神を市政で発揮してもらおうと、職員採用枠に「文化・スポーツ枠」(今年度の募集は2人程度)を新設しました。



はだして芝生の上を駆け回る笑顔いっぱいの坂本幼稚園児ら

### 4 「誇れる」子育てで笑顔に



藤代 愛ちゃん (坂本幼稚園年長)

### 園庭芝生化がスタート

園児や地域の親子がのびのびと遊べる環境をつくらうと、保護者や子ども、地域住民が協力して芝生を植えて育てる「幼稚園・保育所の園庭芝生化事業」。成長が早く丈夫で比較的管理がしやすいとされる「ティフトン芝」を使い、子どもや先生、保護者、地域住民が植え付けから管理まで一緒に

園庭や地域の親子がのびのびと遊べる環境をつくらうと、保護者や子ども、地域住民が協力して芝生を植えて育てる「幼稚園・保育所の園庭芝生化事業」。成長が早く丈夫で比較的管理がしやすいとされる「ティフトン芝」を使い、子どもや先生、保護者、地域住民が植え付けから管理まで一緒に



ことば作品が掲出された電車

### ことばイベントの拡充

「絆」をテーマとした「だから、ことば大募集!! 2010」には、国内外から1万2000点もの、ことば作品が寄せられました。これらの心温まることばを松山の宝として、電車・バスの側面や、松山空港、松山城リフト下などに掲出。またJR松山駅・松山市駅では、平成12年の募集で市長賞に選ばれたことばをモチーフに生まれた楽曲「この街で」のメロディーが、電車の発着音として流れています。ことばの魅力でまちを彩り、松山を訪れた人や市民に笑顔をお届けしています。

### 7 「誇れる」地域の宝を磨き笑顔に



大阪市内で開催の旅行会社向け説明会でプレゼンを行う野志市長



鹿島の海びらきで海水浴を楽しむ子どもたち



「里島めぐり」で地引網にかかった魚を手に喜び参加者

### 鹿島・島しょ部を活性化

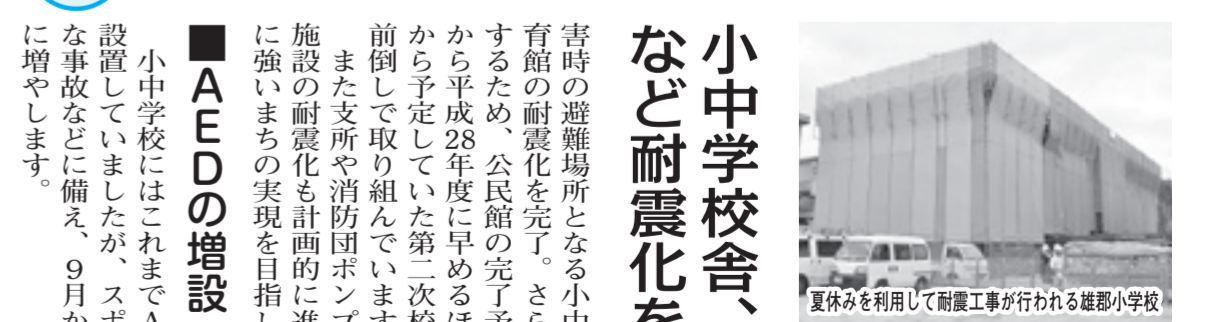
鹿島の活性化を図るため、海水浴場や無料休憩所などを整備するとともに、7月から渡船や駐車場、周遊船の料金を値下げする社会実験を実施しています。7月16日に開催した「海びらきフェスタ2011」をはじめ、12月まで鹿島ならではの催しを実施する予定です。

また島しょ部では、「暮らしやすい笑顔あふれる島、市民の第二のふるさと」をコンセプトに、「愛ランド里島構想」の策定に取り組みしています。6月に策定委員会を、7月には検討委員会を立ち上げるとともに、九つの有人島で構想の策定に向けた地元意見交換会を開催しました。

観光誘客を目的とした旅行会社などへのトップセールスを、首都圏などで精力的に行っています。5月に大阪府で開催された旅行会社向け説明会では、市長自ら「瀬戸内・松山」構想や企業旅行誘致などを、本市の観光戦略と旅行商品をPR。その結果、大手旅行会社により新しい松山旅行商品が生まれました。

また修学教育旅行についても、戦略・効果的な誘致活動により、今年度は昨年度の42校を上回り、50校を超える学校が本市を訪れる予定です。

### 3 「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に



夏休みを利用して耐震工事が行われる雄郡小学校

### 小中学校校舎、公民館など耐震化を前倒し

児童・生徒の生命と災害時に避難する地域住民の安全を守るため、学校施設や公民館の耐震化を計画的に進めています。すでに災害時の避難場所となる小中学校すべての体育館の耐震化を完了。さらに耐震化を加速するため、公民館の完了予定を平成30年度から平成28年度に早めるほか、平成29年度から予定していた第二次校舎耐震化事業に前倒しを取り組んでいます。

また支所や消防団ポンプ蔵置所など市有施設の耐震化も計画的に進めており、災害に強いまちの実現を目指しています。

### AEDの増設

小中学校にはこれまでAEDを各校1台設置していましたが、スポーツ時の突発的な事故などに備え、9月からおおむね3台に増やします。

### 小学校3年生まで入院費無料

安心して子育てができる環境をつくらうと、これまでの小学校就学前までの子どもへの入院・通院医療費の無料化に加え、9月1日からは申請により小学1〜3年生までの入院医療費が無料になります。

お問い合わせは、企画政策課 ☎948-6341 FAX 934-1804